

令和6年度(2024年度)
東北大学大学院環境科学研究科
博士課程前期2年の課程 入試問題

(令和6年4月入学)
〔一般選抜〕

専門科目
環境・地理群
(環境地理学)

令和5年8月29日 13:00~14:30 実施

注意事項

1. 机の上には受験票, 筆記用具, 時計以外は置いてはいけません。
(電卓が必要な場合は申し出ること。)
2. 合図があるまで問題冊子を開いてはいけません。
3. 試験時間は13:00から14:30までです。
4. 問題冊子1部, 解答用紙(3枚), 草案用紙(1枚)を配布します。
5. 問題は1.から2.まで計2問が出題されていますが, すべてを解答します。
6. 解答はすべて解答用紙に記入します。
解答用紙の所定の欄に問題番号および受験記号番号を明記します。氏名は記入しないこと。また問題によって解答用紙を別にします。
7. 問題冊子は持ち帰らないで下さい。

1. 人の空間的な認知や行動に関する人文地理学研究について、次の問いに答えよ。

(1) 人文地理学における認知地図研究について、それによってどのような事象が理解できるようになるのか、例を1つあげて解説せよ。

(2) 人の空間的な行動についての調査にあたり、質問紙を用いる調査方法と、携帯電話などによるGPSの位置記録のみを用いる調査方法とを比較し、それぞれの方法の利点と欠点を述べよ。

(3) 人の空間的な行動先の選択にあたって距離減衰的な効果が認められる現象を1つ取り上げ、その距離減衰的な効果を統計学的に推定する方法について解説せよ。数学的な記号を用いる場合は、使用する記号について定義すること。

2. 以下の語群の語句を 5 つ以上、適宜用いながら、都市の居住分離や居住地域構造に関する歴史的経緯を含めた研究の論点を解説せよ。

- a. 等質地域
- b. 田園都市構想
- c. シカゴ学派社会学
- d. 因子生態学
- e. インナーシティ
- f. 世界都市論
- g. (日本の) バブル経済の崩壊
- h. 社会格差
- i. 再開発